

令和5年度（2023年度）科目紹介

国語科

現代の国語（国語総合） 必履修科目として、実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する科目。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
言語文化（国語総合） 必履修科目として、我が国の言語文化への理解を深める科目。社会人として求められる言語能力を身につけるとともに、言語文化に対する関心と理解を深める。論理的思考力や深く共感したり豊かに想像したりする力、伝え合い、自分の考えを形成する力を高める。
文学国語（現代文B） 小説・評論・詩などを教材に、深く共感したり豊かに想像したりする資質・能力の育成を目指す科目です。また、我が国の言語文化に対する理解を深めることも目指します。
古典探究（古典B） 古文分野では、『枕草子』、『方丈記』、『源氏物語』などを、漢文分野では基礎的な教材を学習します。古典に親しむことを通じて先人や他者のものの見方、感じ方、考え方について考察し、社会に関わろうとする態度を養いましょう。

地理歴史科

地理総合（地理A） 1・2年次生になる方は、必履修科目となりますので、卒業までに修得してください。3・4年次生になる方は、日本史探究（日本史B）との選択必修科目となります。中学校社会科の地理的分野の内容を少し深めたようなものになります。興味がある方は、NHK 高校講座などを視聴してみてください。
歴史総合 新しい科目の「歴史総合」は、これまでの近現代史を中心とする内容の科目（世界史Aや日本史A）の単なる統合科目ではなく、「社会の形成者となるために、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を主体的に考察、構想できるような知識・能力を身につけることを目標とします。
日本史探究（日本史B） 「歴史は覚えるだけ」と思っていませんか？その出来事には、理由があります。今、あなたの目の前にある問題にも、何かの理由があるはずです。あなたが当たり前と思っていることは、意外と当たり前ではないかもしれません。日本史を学び、考えてみましょう。
世界史探究（世界史B） ヨーロッパ各国やアメリカなどで起こっているテロリズムによる破壊・殺戮行為。中東や北アフリカのイスラーム世界から、ヨーロッパのキリスト教諸国への移民・難民問題など。現在、世界で起こっているさまざまな事件は、その原因の多くが過去の歴史に起因しています。世界の歴史を正しく知ることや原因などを考察することは、複雑な国際社会の今後の動向を知るために必要な指針となります。

公民科

公共（現代社会） 社会に参画する際に必要になる知識や社会的事象に対する見方・考え方を理解し課題解決力の育成を目指します。
倫理 「よりよい生き方」とは何かを、自分とは何か、人間とは何か、といったような問いにまでさかのぼって考えます。
政治・経済 日本の政治のしくみはどうなっているのか、日本経済が成長するためには何が必要か、国際平和を実現するにはどうすればよいか。こうした課題を具体的に追究していくなかで、政治や経済に関する知識・概念や「視点や方法」を身につけていきます。

数学科

数学I 高校数学の最も基本となる標準的な必修科目です。中学3年までの予備知識の上に基礎力を養成し、数学IIなどの上級科目を学ぶ基盤を作ります。数学Iで学ぶ事柄は、整式の計算をする、方程式を解く、関数のグラフを描く、図形の計量を考察するなど、数学を学ぶ上で必要不可欠な事項です。
数学II 数学Iに引き続いて学ぶ科目で、高校数学の中心的な科目です。微分と積分など高校数学での新しい概念を学びます。前提となる予備知識は、高校・数学Iまでの既習事項です。数学的に難しい内容も含まれるので、数学が苦手ではない人や数学が好きな人の受講をおすすめします。
数学A 式の変形処理等は比較的少なく、直観力を生かして学べる科目です。必要な予備知識は、平面図形の性質、比と比の値、分数の計算、場合の数、簡単な確率など中学校3年以前の知識です。場合の数や確率、平面図形、整数の性質について学習します。数学Iとの同時履修も可能ですが、数学Iを修得した後の受講をおすすめします。
数学B 数列や統計など高校数学での新しい概念を学びます。数学Iを修得した人しか受講することができません。数学IIと同様に、数学的に難しい内容も含まれるので、数学が苦手ではない人や数学が好きな人の受講をおすすめします。数学Aとの同時履修や数学Aを修得した後の受講もおすすめします。
数学入門講座 数学Iを学ぶための予備知識を身につける科目です。長らく数学に接していない人や、数学が苦手な心配な人が対象です。いきなり高校の数学Iを学ぶ自信がない方には、数学入門の受講を強くおすすめします。小学校・中学校の復習事項のうち高校の数学Iの準備となる項目を取り上げます。

理科

物理基礎 「運動」「エネルギー」「波動」「電磁気」を題材として、われわれの世界を支配している自然の法則について学びます。さらに、自然の応用である科学技術がもたらす地球と人類の未来についても考えます。他の理科の科目と比べて計算が多い科目ですが、電卓は使用できます。
化学基礎 すべての物質は「原子」からできています。そして、原子の種類とつながり方の違いが、性質や反応の違いを生み出しているのです。化学では、物質の「構造」・「性質」・「反応」について学び、物質とは何かを理解します。それは、私たち自身や私たちの住む世界が何からできているかを理解することにつながります。
生物基礎 現在の地球上の生物は40億年に及ぶ生命の連続性のもとで存在しています。その時間経過の中で生物はあらゆる環境に応答し、多様性を生み出してきました。生命の連続性と環境応答を細胞と個体レベルの機能的な調和の中で探り、生物とは何かを考えます。
地学基礎 私たちの住む地球について学習します。地球の中はどうなっているのか。地球の表面ではどんな現象が見られるのか。気象現象はどうして起きるのか。そして、宇宙の中で地球はどのような位置を占めているのか。図を描いたり、計算したりすること等を通して学んでいきます。

保健体育科

保健 健康の大切さを認識し、健康なライフスタイルを確立する観点に立ち、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の基礎を培います。
体育 球技を中心とした種目を実施し、その特性を知った上で、スポーツの楽しさや魅力を味わうことで、生涯にわたる豊かなスポーツライフ及び健康の保持増進の基礎を培います。

芸術科

音楽Ⅰ 音楽において大切なことは、どのように受けとめ、どのように表現するかということです。感覚と技術、これらを支えるのが理論です。この三点を基本に、「感じる心」を大切に、よく聴き、よく表現して、理解することを心がけ学習します。実技は、リコーダー演奏を中心に行います。 【各自で用意するもの：リコーダー(ソプラノ)】
美術Ⅰ 絵画、彫刻、デザイン、鑑賞といった幅広い領域を学びます。デッサン、水彩画、版画、粘土などの実習を通して基本的な技術と表現力を培い、鑑賞や美術史の学習を通して美術への関心・理解を深めます。 (教材費 2000円程度 各自で用意するもの：水彩用具 学校でも購入可)
書道Ⅰ 小学校・中学校の国語科書写では、点画や形・配列を整え、正しく整った美しい文字の書き方を学んできました。これから高等学校で学んでいく芸術科書道では、その上にいろいろな表現要素を加えて、整った美しさだけでなく、多様な変化と調和による美しさも追求していきます。 (各自で用意するもの：書道セット 自宅での報告課題作成のために必要です)

外国語科

英語入門講座 新入生の中で、長い間英語に接していない人や、英語の初歩から心配な人が対象です。中学校の学習内容を始めから丁寧に復習し、「コミュニケーション英語Ⅰ」の準備となる学習をします。 <内容>アルファベット、代名詞の形の変化、疑問文・否定文、動詞の時制(現在・過去・未来)、助動詞
英語コミュニケーションⅠ(コミュニケーション英語Ⅰ) 中学校での学習を基礎として、日常的话题について聞いたり話したり、読んだり、書いたりして、総合的コミュニケーション活動を行います。やさしい読み物を通して、基本的な必修事項が一通り終了するように学習を進めます。
英語コミュニケーションⅡ(コミュニケーション英語Ⅱ) 「英語コミュニケーションⅠ」の学習を終えた後に、「コミュニケーション英語Ⅱ」に進みます。幅広い話題について総合的コミュニケーション活動を行います。読解力養成を目指し、文法学習も更に深めます。
論理・表現Ⅰ(英語表現Ⅰ) 英会話を中心に学習します。ALT(外国語指導助手)と基本的な英語でコミュニケーション活動を行うスクーリングが年間6回あります。また、中学校での学習内容を基礎とし、自分の意見や考えを簡単な英語で書いたり話したりします。

家庭科

家庭総合 衣食住について知っておきたいこと、賢い消費者になるために必要なこと、赤ちゃんも高齢者も共に暮らす家族・地域社会で大切なこと、環境にやさしい生活の方法、自分の生活設計やキャリアについての考え方など、大人として自立して生活するための知識や技術を、国際的視野を持ちながら楽しく学習していきましょう。
消費生活 「家庭総合」の基礎的な学力を身につけた後に、「消費者としての自立」について学習します。消費生活の変化について理解し、商品・サービスの選択において適切な意思決定ができるようになるとともに、消費生活に関する知識を学びます。また環境保全に配慮した消費生活についても学びます。
フードデザイン 「家庭総合」で学んだ食生活の基礎的な学習を更に発展させ、深めていく科目です。食事の意義と役割、栄養、食品、ライフステージと食事計画、献立作成、テーブルコーディネート、食卓作法、食文化など、食生活を総合的にとらえ、食生活を楽しめるようにしましょう。 調理実習は2回程度を予定しています。(調理実習費：1回300円程度)

情報科

情報Ⅰ(社会と情報) わたしたちは、いま、コンピュータや携帯電話などの情報通信手段なしでは生きられない社会の中で生活しています。このような情報社会では、情報機器を便利に使うだけでなく、情報機器を使うことの意味や危険性について知るとともに、わたしたち自身が情報を生産し、それを発信していくことも必要になります。この科目では、わたしたち一人ひとりが情報と主体的にかかわっていくのに必要な知識と技法を、体験的に学んでいきます。
--

商業科

ビジネス基礎 ビジネスに関する基礎的・初歩的な知識と技術を学び、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けます。消費者・利用者の立場としてだけでなく、販売・サービスを担当する立場として、物流を担当する立場として、そしてモノ作りを担当する立場としてもビジネスを学びます。
ビジネス・コミュニケーション(ビジネス実務) 商業の科目は本校では必修科目ではありませんが、社会生活では必修であると考えています。ビジネスの世界では人と人との繋がりが大切です。他者と良好な信頼関係を築き、コミュニケーションを図ることでビジネスを円滑に進めることができます。ビジネス・コミュニケーションは、上記の「ビジネス基礎」と並んで商業科目の基礎となります。
経済活動と法 「隣の家の庭から枝が伸びてきた、勝手に切ったら違法?」「自分の購入した家が欠陥住宅だったら?」そんな身近な例を取り上げながら経済活動や日常生活に関わる法律の学習をします。法律の専門家を目指すわけではありませんが、「こんなときはどうしたらいいの?」という疑問を法律の視点から考えていけたらと思います。法律の基礎から学習し、判断力や考える力を身につけていきましょう。
簿記 簿記は難しいといわれますが、決して難しい科目ではありません。簿記を学ぶことにより、企業活動や経済の仕組みがよく分かるほか、新聞など経済記事の内容を理解しながら読むことができます。本講座は初めて簿記を学習するみなさんが、複式簿記の原理を理解し、商品売買業で発生するいろいろな取引を、正確かつ明瞭に記帳する基礎的な能力を身につけることをねらいとしています。

総合的な探究の時間

自分の身近なところから、学習テーマを見出し、その問題を解決のための方法を自分で考えて、主体的に学習をする科目です。その学習を通じて自分の生き方を考え直すきっかけにしてほしいと思います。
--